

服部事務所 だより

ご連絡先 : 〒683 - 0003 米子市皆生5 - 5 - 5

電話 : 0859-33-8594 FAX : 0859-33-8775

e - mail : hattori@sea.chukai.ne.jp

<http://www.chukai.ne.jp/~hattori/>

平成 20 年 1 月増刊号



3月までに「ねんきん特別便」が届いたら

宙に浮いた年金の可能性大

社会保険庁専用ダイヤル(0570-058-555)に する

社会保険事務所(0859-34-6111)に行く

服部事務所(0859-33-8594)に相談する

1億人に「特別便」

宙に浮いた5000万件の年金を解決するためとして、政府が「ねんきん特別便」を発送して1カ月余。今年の10月までにすべての受給者・加入者に「特別便」を発送する計画です。

3月までに届いた人へ

そのうち、今年3月までに「特別便」が届く人は、記録確認がなされることにより新たな年金に結びつく可能性の大きい人です。以下3点いずれかの行動を、すぐに起こしましょう。

社会保険庁専用ダイヤル(0570-058-555)に する

社会保険事務所(0859-34-6111)に行く

服部事務所(0859-33-8594)に相談する

「特別便」は改善が必要

社会保険庁は、昨年末までに481,717通の「特別便」を発送しましたが、加入履歴の訂正を求めた人はわずか5%です。「宙に浮いた年金の可能性が高い」と政府が言っている人でさえこんな状態では、4月以降の人の宙に浮いた年金が訂正される可能性は極めてすくないものとなるでしょう。

本人と結びつく可能性が高いといいながら、一切その記録は載っていません。ヒントもありません。数十年も昔のことを思い出せない人も多くいます。

政府、批判受け一定改善

この原稿を書いていたら、以下のようなニュースが入ってきました。

1、問い合わせヒントOK

1月21日政府は、「ねんきん特別便」の問い合わせ対応で、氏名・生年月日・住所の基本3情報に結びつくヒントOKという通知を出しました。

2、「特別便」内容改善

1月22日政府は、「特別便」について「今印刷しているのは無理だが、止められるところから止め、既に送った方々に対しては(内容改善したものを)再送して徹底させる」と表明しました。

政府のこれらの措置は、国民の声を受けたもので、前進です。これからも声をあげていきたいと思えます。